令和
7
年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

よくわかる公共事業

一級河川　鏑川（池工区）河川改修事業

事業継続中

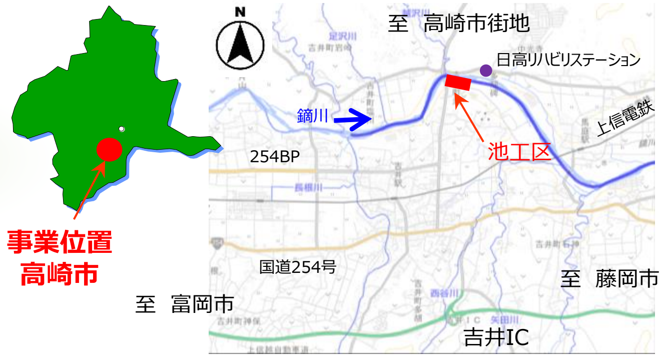
どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防をつくり、
流せる水の量を増やします

地元の声

- ・近年の豪雨で地域が冠水してしまうのではと心配です。（地元住民）
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。（地元住民）


事業位置
高崎市
至　高崎市街地
日高リハビリステーション
鏑川
上信電鉄
池工区
254BP
国道254号
至　富岡市
至　藤岡市
吉井IC

事業の概要

- ■ 事業箇所：高崎市吉井町池
- ■ 事業内容：築堤・護岸整備 320m
- ■ 事業期間：令和2年度～
- ■ 現況流下能力：約1,800m³/s
- ■ 計画流量　　：3,200m³/s

事業前

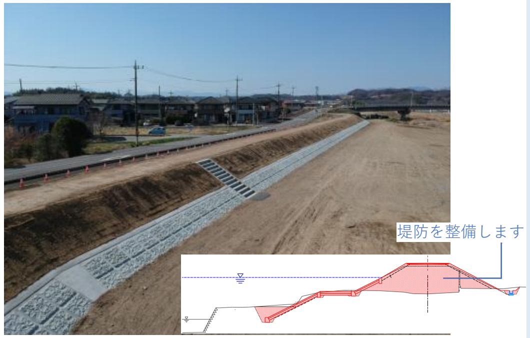
◆ 堤防がないため洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。

令和元年東日本台風直後の様子

事業前の状況

事業後

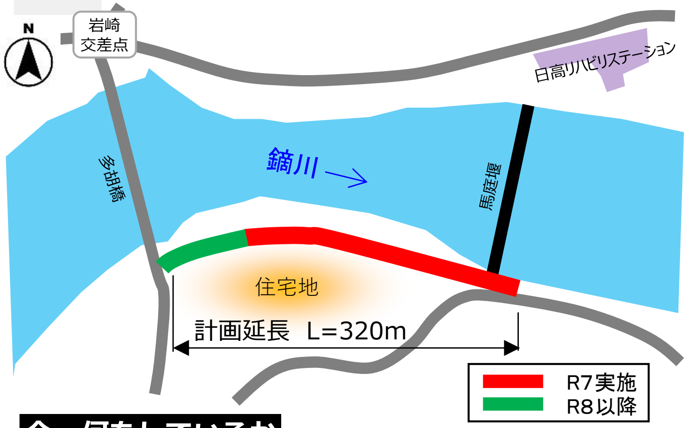
◆ 堤防を整備することにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
想定氾濫面積	0.95ha	0ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	6戸	0戸

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）


N
岩崎
交差点
日高リハビリステーション
多胡橋
鏑川
馬庭堰
住宅地
計画延長　L=320m
🟥 R7実施
🟩 R8以降

今、何をしているか

令和7年度は堤防を整備する工事を実施します。

事業のすすみ具合　事業開始 ● ━━━━━━ ‥‥‥‥ ● 事業完了